

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	<b>●研究の名称</b> 多発骨転移の経時的変化の評価における骨シンチグラフィ全身プラナー像差分画像の有用性に関する後ろ向き観察研究
	<b>●研究の対象</b> 2017年6月～2022年6月に当院で骨シンチグラフィ検査を複数回受けられた前立腺癌の方
	<b>●研究の目的</b> 骨シンチグラフィは全身の骨転移診断に有用な検査であり、特に前立腺癌の患者さんには定期的に行われることがあります。全身に骨転移が広がっている場合には個々の病変が前回より増悪しているのか、変化がないのか、治療効果を認めているのかを評価することは時間のかかる作業です。また、変形性関節症など骨転移以外の病変にも骨シンチグラフィで異常を認めることがあり、これはコンピューター支援システムを併用しても完全に除外することはできません。このような良性病変による異常所見は経時的変化に乏しいため、今回の画像から前回の画像を引き算した画像を作成すれば異常所見が消えることが予想され、骨転移との鑑別に有用と考えられます。また、骨転移の治療効果も一目瞭然で、引き算した画像で集積が残存していれば増悪、背景と同等に消失していれば変化なし、マイナスの値となり欠損となれば治療効果あり、と判定できます。引き算した画像は病変全体を1枚の画像で評価でき、読影時間の短縮と診断の確信度向上に役立つことが想定され、臨床的意義が大きいと考えられるため、本研究ではその有用性を検討することを目的とします。
	<b>●研究の期間</b> 研究機関の長による実施許可日から2026年3月まで
<b>●他の機関に提供する場合には、その方法</b>	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、骨シンチグラフィ画像、カルテ番号 等
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 浜松医科大学 放射線診断学講座 市川新太郎
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	浜松医科大学 放射線診断学講座 市川新太郎
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

「問い合わせ先」	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学  部署名： 放射線診断学講座  担当者： 市川新太郎  TEL： 053-435-2242  E-mail： shintaro@hama-med.ac.jp
----------	---